

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎ATルーム
担 当 教 員	中山 広基	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

目標達成を①日本体育協会公認アスレティックトレーナー合格達成レベル(受験希望者)②使用テキスト内に記載の内容を理解し、実際の現場で使用できるようになる。とし、授業で学んだことが、実際のスポーツ現場で生かせる知識・技術となる様に進めていく。

《成績評価の方法と基準》

《使用教材(教科書)及び参考図書》

AT教本⑦

《授業外における学習方法》

関連書籍を図書室等で確認することが必要です。また。PUBMED等にて関連の文献を検索し、読むことも非常に有用です。

《履修に当たっての留意点》

使用テキストに記載のある事を元に、学問に対する理解を深めていく。進行形態は、各項目を基礎・応用に分け、講義・実技を踏まえ、進行していく。また、一方的な授業ではなく、学生に主導権を与え、グループディスカッションや、プレゼンテーションを行う機会を設定し、思考力・指導力を養える様に授業を構成する。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通しての到達目標	膝関節の基礎であるMCL損傷について学ぶ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索
	各コマにおける授業予定	MCL損傷に関しての発生機序から損傷を理解する。		
第2回 講義形式	授業を通しての到達目標	膝関節の基礎であるMCL損傷について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索
	各コマにおける授業予定	MCL損傷に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。		
第3回 講義形式	授業を通しての到達目標	膝関節の基礎であるACL損傷について学ぶ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索
	各コマにおける授業予定	ACL損傷に関しての発生機序から損傷を理解する。		
第4回 講義形式	授業を通しての到達目標	膝関節の基礎であるACL損傷について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索
	各コマにおける授業予定	ACL損傷に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。		
第5回 講義形式	授業を通しての到達目標	大腿部の基礎であるPF関節障害・大腿部肉ばなれについて学ぶ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	PF関節障害・大腿部肉ばなれにに関しての発生機序から損傷を理解する。		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	大腿部の基礎であるPF関節障害・大腿部肉ばなれについて学ぶ② PF関節障害・大腿部肉ばなれに関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
			膝関節まとめを行い応用への展開ができるようになる① 履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	膝関節まとめを行い応用への展開ができるようになる② 履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
			脊柱の基礎となる頸椎捻挫・バーナー症候群について学ぶ① 頸椎捻挫・バーナー症候群に関しての発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱の基礎となる頸椎捻挫・バーナー症候群について学ぶ② 頸椎捻挫・バーナー症候群に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛について学ぶ① 椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関しての発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛について学ぶ② 椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛について学ぶ① 椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関しての発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱の基礎となる椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛について学ぶ② 椎間板ヘルニア・腰椎分離症・筋筋膜性腰痛に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱のまとめを行い応用への展開ができるようになる① 履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	脊柱のまとめを行い応用への展開ができるようになる② 履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢の基礎である肩関節脱臼について学ぶ① 肩関節脱臼に関しての発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント 教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎ATルーム
担 当 教 員	中山 広基	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

①アスレティックリハビリテーションの立案 ②指導 ③実施場の注意点について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

期末テスト 80%・平常点10%・提出物10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

AT教本⑦

《授業外における学習方法》

《履修に当たっての留意点》

アスレティックリハビリテーション(以下AR)は事前に網羅しておくべき科目(知識)が非常に多く、とつかかりにくい科目であると言える。ただし、ARはケガによって一線から離脱した選手が、競技復帰する際に必須の項目(科目)であり、その立案するARの内容一つで選手のパフォーマンスが大きく変わると⾔つても過言ではない。選手とARを通じて時間を共にする中で、選手の競技復帰を影で支え、尽力出来るように共に学んでいきましょう!

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回 講義演習形式	授業を通しての到達目標	上肢の基礎である肩関節脱臼について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索
	各コマにおける授業予定	肩関節脱臼に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。		
第17回 講義演習形式	授業を通しての到達目標	上肢の基礎である肘・手関節疾患について学ぶ①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	肘・手関節疾患に関しての発生機序から損傷を理解する。		
第18回 講義演習形式	授業を通しての到達目標	上肢の基礎である肘・手関節疾患について学ぶ②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	肘・手関節疾患に関してのアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。		
第19回 講義演習形式	授業を通しての到達目標	上肢のまとめを行い応用への展開ができるようになる①	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。		
第20回 講義演習形式	授業を通しての到達目標	上肢のまとめを行い応用への展開ができるようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
	各コマにおける授業予定	履修した内容をグループにてディスカッションし、応用へ展開させる。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 21 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学ぶ① 競技特性に応じた発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 22 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学ぶ② 競技特性に応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 23 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ① コリジョンスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 24 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ② コリジョンスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 25 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ① ノンコンタクトスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 26 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ② ノンコンタクトスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 27 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ① コンタクトスポーツに応じた発生機序から損傷を理解する。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 28 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ② コンタクトスポーツに応じたアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 29 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	全講義内容もとにアスレティックリハビリテーションを総合的に判断できるようになる① 発生機序から損傷を総合的に判断できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション
第 30 回	講義演習形式	授業を通しての到達目標 各コマにおける授業予定	全講義内容もとにアスレティックリハビリテーションを総合的に判断できるようになる① 総合的に判断してアスレティックリハビリテーションを実践できるようになる。	ATテキスト⑦配布プリント	教科書・関連書籍の確認と論文の検索 クラス内でのディスカッション